

## 第2回学校活性化勝浦郡地域協議会議事録

委員

第1回の地域協議会の概要はこんなものだったでしょうか。

県に都合のよい意見だけを取り出しているように思います。後から見た人が、協議会ではこれだけしか意見がでなかったのかと思うのではないのでしょうか。

委員

皆さんの意見を要約すればこうなると思います。

資料にある「魅力ある学校づくり」という言葉には、皆さんの意見が集約されていると思います。また、「勝浦の温かさ」という言葉にも、地域の人情や児童・生徒との触れ合いといったものが含まれているように思います。第1回の協議内容が全て書かれてはいないかもしれませんが、総括的にみれば、様々な分野の意見が入っていると思います。

県教育委員会

第1回目の協議内容は確かに資料にあげたものだけではありません。ですから、協議内容は議事録としてホームページにアップして見ていただけるようにしております。資料は、勝浦高校の新しい教育のあり方について議論していただく上で、参考になる意見をまとめたものです。

県教育委員会

勝浦高校の活性化に関する提言を概要としてまとめた資料であることをご理解いただけたらと思います。

委員

県外視察の説明を聞かせていただいて、色々な取り組みをしている高校があるのだと思いました。しかし、説明いただいたのは、どこも生徒数が多い高校ばかりでした。将来的に、勝浦高校は農業科を残して分校化することが決まっているのですから、生徒数の多い学校とは取り組みも違ってくるのではないのでしょうか。

視察先のように多岐にわたった教育を行うのは難しいと思います。

また、勝浦高校が分校化した後は、生徒数が増える見込みはあるのでしょうか。

ある程度、勝浦高校の定員が分からなければ提案をしにくいと思います。

県教育委員会

募集定員は地域の生徒数や生徒の進学希望を総合的に勘案し決めております。高校の場合は入学者が30名を下回ると募集停止になってしまうので、少なくとも1学年30名以上でスタートすることになります。

## 事務局

この度、ご提案した資料は、出来る限り多くの事例を紹介し、その中から勝浦高校の特色ある取り組みを考えていただく資料として活用いただければと思います。

## 県教育委員会

視察先は全校生徒数の多い学校となっています。しかし、少人数の学科の取り組みとして成果をあげている学校もあります。全校生徒による取り組みよりもそれぞれの学科での取り組みが重要です。勝浦高校の園芸科としても参考になると思います。

## 委員

分校化と2クラスになることも決まっている中で、学校の活性化を図ろうとするのなら少人数となる学校規模の中で新しく打ち出した4本の柱を2クラス程度で実際に取り組んで行くには、内容が豊富すぎて消化不良になるのではと思います。4本の柱を主体にやれば農業系の大学への進学や資格取得や就職率が高いことを活性化につなげていけると思います。

自分なりの意見をまとめてきましたので、参考にしてください。

単に生徒を集めるだけなら、活性化策として部活動が全国に通用するようにする事も考えられます。

学校にはある程度の規模が必要だと思います。文化祭など行事をするときには、人数が少ないと魅力に欠けるように思います。また、農業と福祉を専攻する生徒が同じクラスでも大丈夫なのでしょうか。今は、普通科もありますし、農業科の中で全ての授業をしてしまうのではなく、医療や福祉の専門クラスをおいたほうが良いと思います。

中山間地域で普通科、農業科、福祉科を置いている学校としてモデルケースになれませんか。

## 委員

委員の方も普通科を残してほしい方と、農業科だけとするか、ご意見が分かれているように思います。

## 県教育委員会

これまで培ってきた農業教育をベースに考えていただきたいと思います。その上で、新しいキーワード（流通・経営、環境、福祉、食育）をプラスして、新しい案、この地域でないと出来ない教育を考えていただきたいと思います。

## 委員

別の学科の設置もあり得ないのでしょうか。福祉であれば、福祉を中心とした授業を行わなければ、資格が取れないと思います。

3, 4クラスということにもならないのですか。2クラスで始まれば、後で入学希望者が増えたとしても、クラス数を増やすことができないのではと思います。新しい取り組みをするのであれば、ある程度の人数が必要です。クラス数を増やしていただきたいです。

## 県教育委員会

大きな学科で言えば、農業科ということですが、その中でいろいろな教育の展開を考えていただけたらと思います。

## 委員

ここにいる委員全員が、普通科を残してくださいと提言しても普通科は残らないのですか。

## 県教育委員会

再編方針では、農業教育を基本にとありますので、それに沿った協議をお願いしたいと考えております。

## 委員

私が言いたいのは、協議会で話し合ったことの中から、県教委に都合のいいことだけ前に出してもらいたくないということです。それが方針に沿わないことであっても、いろいろな意見があったことを記録として残していただきたいのです。

9月の新聞で、徳島市内の高校は希望者数が定員をオーバーしているのを見ました。第1回目の協議会の説明でも自分が行きたい高校に行けず、勝浦高校に入学している生徒もいるという話を聞きました。県下の中学生が全員行きたい高校に行けるようになると思います。無理に勝浦高校の定員を減らす必要はないと思います。

## 県教育委員会

無理に定員を減らしているわけではありません。教育委員会としては一人でも多く、行きたい高校に行ってほしいと考えています。勝浦高校に行きたいと思う生徒がたくさんいれば、勝浦の定員を増やすことができると思います。

## 委員

今年度も本小学校に勝浦高校から野菜作りの指導に来ていただいています。教員の数も減っており、農業に詳しい教員が少ないのが現状ですので、畑を耕し、一緒に子ども達と作業してもらうことは、子ども達の心にもいい影響を与えてくれています。

今後も、産業文化祭をご一緒する計画がありますし、勝浦高校の生徒さんと小学生が交流することで、高校を身近に感じる事が出来ます。地域内での学校間の壁がなくなってきたと感じています。交流を通して、助けていただいていますし、豊かな感性が育っているのです、今後も連携していきたいと思います。

## 委員

勝浦の資源を使って学校の活性化を図ってはどうかでしょう。「よってね市」を利用し、流通・販売なども学ぶこともできると思います。「よってね市」では、現在、販売する苗木などは業者に作ってもらっていますので、それを勝浦高校に作ってもらうことはできな

いのでしょうか。また、地元には果樹研究所もありますので、連携も考えられます。パイロットファームも活用されていないので、なにかに利用できると思います。また、農業大学や農業大学校との連携も考えられます。

#### 委員

パイロットファームに関しては、勝浦高校の活性化に役立つのであれば、町もバックアップすると聞いております。

#### 事務局

「よってね市」との連携は可能性がありそうですし、教育面でも連携させていけると思います。ITを活用した販売システムの導入もあります。研究所も高校と同じく県の機関ですから、栽培研究や調査など連携できると思います。研究所ではLEDを使った農業の研究もしていると聞いておりますので、その部分でもお手伝いできたらと思います。

また、パイロットファームについても町が協力してくださるとのことですので、活用していきたいと思います。

農業大学校は、勝浦高校の卒業生もおりますので、連携可能だと思います。

ただ、人数や学科のねらいという問題がありますので、それも踏まえながら可能性を探っていきたいと考えております。

#### 委員

少数精鋭を目指すことになると思いますが、何かしら目玉となるものが必要です。水産高校であれば遠洋漁業で海外に行っていますよね。農業の分野でも国際交流として、海外の農家に体験留学などするのはどうでしょうか。農業科の生徒全員ではなく希望者を募って県の事業と関連させながら出来ないですか。

#### 事務局

過去に1人行ったことがあります。旅行業者が実施しているファームステイに参加しました。最初の年は行くということで準備を進めていましたが、直前になって本人が取りやめました。しかし、次年度には、やはり行くという強い意志で、英語力が十分ではなかったのですが、参加しました。そして、自信を深め成長して帰ってきました。金銭面では課題もあると思いますが、教育効果は高いと思われれます。

#### 委員

農業科か普通科かの議論が出ていますが、科目の問題ではなく地域にとって必要な学校はどんな学校かということが大切です。地域の人が子どもを行かせたい、また、地域の子どもの行きたいと思うような学校にしなければなりません。農業科というのであれば、従来のやり方では魅力を感じません。その点が多く委員さんが不安に感じているのだと思います。これからは、徹底した個性ある学校づくりを進める必要があります。

まずは出口の見える教育を行うことです。勝浦町の特徴である一次産業と福祉に絞り、進路が見える教育を行うことが必要になります。もちろん、従来の農業の分野で野菜や果

樹を栽培することも感性を育てるためには重要です。しかし、これからの就職や進路を考えればITに絞った教育をするべきです。勝浦郡内の農家に行き、写真を撮ってHPにアップしていくことで、農業を全国に発信しながら勉強することができます。大学や企業と連携し、また、勝浦には光ファイバーが通っていますのでそれを活用することができると思います。先生にもITに詳しい人に来てもらい、ITの分野を学べる体制を整えてはどうでしょうか。農家は自分の子ども達に農業を学んでほしいために農業科に行かせるわけではありません。親が出来ないこと、つまりITなどの技術を学んでほしいと思っています。ITにからめ優秀な人材を育成することは徳島県の農業にとってもとても有益です。

また、医療福祉専門学校に毎年入学できれば、それは親にとって魅力的です。せっかく地元にあるのですから、地元の利点をいかして狙っていくべきだと思います。

出口が今の時代に合っているかどうかを見極めながら、魅力があり夢が語れる学校にしていく必要があります。県教育委員会からすれば、学校が個性化することには抵抗感があるかもしれませんが、リスクを背負ってでも個性化していかなければ魅力ある学校にはならないと思います。

#### 委員

農業大学校や果樹研究所との連携は、現在も行っている教育の範囲でできることです。より活性化するためにすべきことがあると思います。

海外へ研修に行くことなども含めて、農業分野においても推進して行ってほしいと思います。勝浦高校でなければ受けられない教育という特色を出していくことが必要です。

ただ、農業は衰退してる流れですから農業中心の教育には疑問を感じているのも事実です。

#### 委員

阿南高専のように高校3年間にプラスして2年間通えば、短大の資格を取得できるようにはできないのでしょうか。そうすれば5年間の教育になり、総合的には生徒の数も増えますし、4年生から編入することもできるようになると思います。

また、本校と分校の差について教えていただければと思います。

#### 県教育委員会

富岡東の看護科と水産高校に、さらに2年間通う専攻科があります。しかしそこを卒業したからといって、短大卒の資格が取れるわけではありません。水産高校は海技士の資格を取るために乗船歴が必要となり、そのため専攻科を設けています。全国的に見ても看護科と水産科に専攻科があり、その他の科にはあまり設置されていません。

本校と分校の差については、学校規模の違いはありますが、特に差はありません。教員の数も学校規模によるものです。

#### 委員

文化祭や学校行事も人数が少ないと活気がないように思いますが。

## 県教育委員会

分校ということは本校がありますので、本校と一緒に行事を行うことでカバーできることもあると思います。

## 委員

本校と一緒にといわれても、本校と分校では学校の方針も違いうだろうし、問題があると思います。本校と一緒にしなくても何でもできるぐらいの規模が必要です。新しく生まれ変わろうとしているのに、本校に頼らなくてはならないのなら、意気込みが削がれるように思います。やはりある程度のクラス数や人数が必要です。

## 委員

勝浦郡の人達がこういう教育をしたいというように提案があれば、教育内容を絞って話を進めることができますか。

## 県教育委員会

IT を活用したいということを経済協議会の提案として取りまとめていただければ、対応できるのではないかと思います。

現在、県ではオンリーワンハイスクール事業を推進するなど特色ある学校づくりを進めておりますので、農業をベースとしながらいろいろなことを取り入れて魅力ある学校にしていきたいと考えております。

## 委員

農業の将来を考えれば、IT、バイオ、LEDの展開に夢があると思います。自分も農業高校出身ですからわかりますが、農業高校で学んだことで現場でいかせることはあまりありません。

しかし、作る喜びは人としてとても大切なことですからその部分も取り入れていかなければなりません。

教育委員会が後押ししてくれるのであれば、ITを中心とした教育の方向性を提案していきたいと思います。

## 県教育委員会

ただ、勝浦高校のこれまで培ってきた教育が基本ですから、園芸教育を踏まえて、ITに特化した教育も可能であると思います。

## 委員

勝浦の農家に行き、その様子をHPにアップするなど農業に絡めてのITであれば可能ということですね。

## 県教育委員会

それなら大丈夫だと思います。

## 委員

現在の勝浦高校には文化部として民芸部があります。地域の人から指導を受け、地域の資源を活かす点からも継承していかなければならないと思います。ただ、これにもある程度の人数が必要と思います。

分校となると部活動での団体競技が難しくなってきます。野球部が先日、2回戦に進出しましたが、対戦相手の新野高校は勝浦高校より規模が大きいせいも、押されているように感じました。分校になるのであれば、最大限の定員を設定していただけるようお願いしたいと思います。そうすれば全県一区でありますので、県下から生徒が来ることができ、全国でも活躍できる生徒が入学することができます。今でもライフルでは、全国で活躍できる生徒が在学しています。また、テニス、バスケット、陸上などの運動部も頑張っており、学校の活性化に繋がっています。そして、生徒もそれで自分をアピールできていると思います。

本日の協議を元に、次回の地域協議会では、事務局から教育課程など教育の中身を提案させていただきたいと考えております。

さらに、生徒個々が自分をアピールできるなど、人間的に成長させる学校づくりについても考えていきたいと思っております。

## 委員

やはり定員は多く置いていただきたいと思います。人数が多いほど、部活にしても活性化しやすくなると思います。多くの生徒が在学し、いろいろな人と接する中で自分の適性も分かってくると思います。

人形浄瑠璃も含め、クラブ活動からプロになれるような生徒が出てくるようになればいいと思います。そのためにはお手伝いしたいと思います。

## 会長

そのためにも魅力ある学校づくりへのご提案をよろしくお願いいたします。